

2.5 公共交通が抱える課題

これまで整理した本市における現状や課題、市民の意識、交通事業者等からの意見を踏まえ、本市の公共交通が抱える課題を整理します。

- 本市の人口は増加傾向にあります。しかし、木津地域の学研地区では今後も人口増加が見込まれるのに対し、加茂地域と山城地域では減少傾向にあるなど、人口の地域偏在がみられます。これを踏まえ、今後は各地域の活力増進を促すことで、結果として市域全体の活性化を図ることが必要であり、公共交通はこれを支援することが必要です。
- 高齢化が進行しており、特に加茂地域や山城地域では高齢化率が高く、40%を超える地区もあります。本市では、65歳以上の自動車運転免許保有者の割合が年々増加しており、全国的にも高齢者の事故が問題となっていることから、自主返納する市民も増えつつあります。これらを踏まえて、今後は高齢者が暮らしやすい環境整備が今まで以上に必要となります。
- 本市の公共交通体系は、鉄道・バス・タクシー等で構成されていますが、各交通機関では、利用の低迷、乗務員不足等の問題より、減便対応などを講じて運行を維持せざるを得ない状況にあります。また、コミュニティバス等の運営に係る財源確保も厳しさを増すことが見込まれます。こうした、公共交通を取り巻く社会環境の変化を念頭に、将来に向けて市民のみなさんが安心して暮らし続けられるように、既存の公共交通の持続を図ることが必要です。